

1 ロケツーリズムを活かした商工観光振興事業

令和3年度実績

①事業の背景目的

市への観光客数は「あまちゃん」放送後の平成26年をピークに放送前の観光客数に戻りつつあり、ブームを一過性にせず、交流人口の拡大につなげる取組が急務となっている。このような状況の中、海外では、アジア等10カ国で「あまちゃん」が放送されるなど、外国人観光客の認知も日毎に増加していることから、「あまちゃん」と久慈市を結びつけ、久慈市のファンを継続的に獲得していくことにより、関係人口の拡大を目指す。

また、ロケによる効果的なPRで地場産品の認知性を高めるとともに、ふるさと納税者を増加させることで、地場産業の振興につなげる。更には、あまちゃんに関連したコンテンツと体験型観光を連携させることで、実際に久慈市を体感してもらい、移住定住者の増加を目指す。これらの取組により、観光を基軸として地場産業の拡大、雇用の維持、移住促進を進めることで持続的な地域振興を目指す。

②計画期間

令和元年度～令和3年度（3カ年）

③令和3年度事業実績

単位：円

事業内容	事業費(A)	交付対象額 (A)×1/2
1 ロケツーリズムを活かした商工観光振興事業	21,819,831	10,909,915
(1)「あまちゃん」を活用した誘客事業		
①ロケツーリズム推進事業		
・ロケツーリズム協議会参加に係る費用（負担金） （社）ロケツーリズム協議会が主催する協議会に参加し先進的な取り組み等を研修C17:D33した他、映像制作者とのロケ誘致に係る商談会への参加や情報交換を行った。 （5月28日、7月9日、9月24日、11月19日、1月20日 5・9・1月はオンライン参加）	550,000	
・映画「永遠の一分。」ロケ地MAP作成業務 久慈市を中心に約20か所で撮影が行われた映画「永遠の一分。」のロケ地を紹介したマップを作成し全国の施設や当市を訪れた観光客に配布した。（A3二つ折り 10,000部）	429,000	
・映画「永遠の一分。」プレミア上映会実施業務（委託料） 全国公開前に主演のマイケルキダ氏、監督曾根剛氏を招致してプレミア上映会を実施。 令和4年2月26日（日）会場：アンバーホール大ホール	236,500	
・映画「永遠の一分。」プレミア上映会場借上げ料（使用料） 全国公開前に主演のマイケルキダ氏、監督曾根剛氏を招致してプレミア上映会を実施。 令和4年2月26日（日）会場：アンバーホール大ホール	125,990	
・久慈市観光宣伝コンテンツ制作業務（委託料） 観光プロモーション「くじのん～久慈のんびり旅」の宣伝効果を高めるため、特大ポスターを作成した。（B1サイズ・200枚）	567,600	
・観光ガイドブック制作（印刷製本費） 久慈市の観光施設と合わせて、ロケ地などの情報を盛り込んだガイドブックを増刷し、観光客の周遊を促すことで、地域経済の推進を図った。（20,000部）	1,540,000	
・観光PR経費（広告料） 北三陸・久慈一日ラジオ 175,000円 市内イベント、店舗、補助事業等広告掲載 902,000円 サザエさんオープニング映像制作料(2022年1月期) 385,000	1,462,000	9,636,590
・アート作品「王様のマント」設置業務（委託料） 久慈市にゆかりのある女優・創作あーちすと、のんさんが寄贈するアート作品「王様のマント」を駅前観光交流センターYOMUNOSUに展示するため、低反射、UVカットの亚克力板を設置した。	225,500	4,818,295
・ロケ地PRイベント等開催経費（負担金） ・久慈×Ribbonプロジェクト 久慈市にゆかりのあるのんさんが脚本・監督・主演の映画「Ribbon」を応援するため市内をフラッグやリボンで装飾した。また「Ribbon」上映会及びのんトークショーを実施。 ・ウォールアートの設置 観光交流センターYOMUNOSUの建物内の壁面に「あまちゃん」の世界観と北三陸の魅力を表現したウォールアートを設置。 ・北三陸周遊マップの制作・配布 イラストを主体とした市街地周遊を促すマップを作成・配布（20,000部） ・その他PR業務 あまちゃんぐるっとMAPの増刷、SNSによる情報発信、紹介動画の制作など	3,000,000	
・あまちゃんマラソン大会開催経費（負担金） ・新型コロナウイルス感染症の影響により、開催約1カ月前での中止決定となったため、広告宣伝費、参加者登録、キャンセル手続き等の事務経費が発生した。	1,500,000	

(2) 体験型観光推進事業		12, 183, 241	6, 091, 620
①自然体験推進事業			
・教育旅行等受入推進事業（職員手当） （消耗品費） （燃料費） 教育旅行受入のためのバス送迎（運転手超勤・ガソリン代）や消耗品費の購入 参考 R3年度受入実績：57件	47, 720 99, 290 1, 551		
・体験プログラムパンフレット作成（印刷製本費） 久慈市の体験教育旅行「こころの体験」パンフレットの増刷	150, 000		
・体験プログラムPR経費（広告料） 体験プログラムをPRするため、エリアアイ7月1日号に広告を掲載。	121, 000		
・ふるさと体験学習業務（委託費） 現在の受入地域である侍浜町の近隣である夏井町での教育旅行受入の新規開拓を目的とした委託事業を実施。 体験学習業務：夏井小学校 体験プログラム開発：マルヒ製材『木づかい体験』を夏井中（2年）がモニター体験。	480, 590		
・体験観光受入体制構築（補助金） 都市住民との交流人口拡大、地域特性を生かした体験型観光推進及びヘルスツーリズム健康増進事業実施により更なる交流人口拡大等を目的として、（一社）久慈市ふるさと体験学習協会の運営に係る補助を実施。	9, 500, 000		
・ヘルスツーリズムPR経費（広告費） ヘルスツーリズム商品の認知度向上に向け、一般客向けにPRするため紙面広告等を実施する。	297, 000		
・ヘルスツーリズムコース管理（委託費） 久慈市のヘルスツーリズム体験プログラムである十二支巡りウオーキングコース※の環境整備（草刈り）を、6月～9月のうち、各月2回実施した。 ※中心市街地に近接し、適度な起伏があり、至近距離で十二支巡りができる初心者向けコース	99, 990		
・丸太型ベンチ設置業務（委託費） コース途中において、体力測定用及び休憩スポットとして丸太型ベンチを設置し、基礎体力をその場で判定することで、参加者の健康意識向上につなげると共に、休憩スポットとして活用し、ヘルスツーリズムの満足度を上げ、リピート率を向上させる。	62, 700		
②自然体験メニュー拡充推進事業			
・三陸ジオパーク推進協議会事業（負担金） 地域資源を活用した自然体験ができる、みちのく潮風トレイルの利用者拡大と三陸ジオパークを活用した交流人口拡大のため、当市が所属する同協議会北部ブロックにおいて、中部・南部ブロックと合同での研修等により、三陸ジオパークの理解を深める活動を行った。	500, 000		
③民泊整備推進事業			
・農林漁家民泊整備推進事業（補助金） 農林漁家民泊の受入態勢を強化するため、住宅改修に対する補助を実施。 【実績：2件】【工事費：1, 836, 800円】【補助額：823, 400円（1/2補助。上限500千円）】	823, 400		

④事業の課題と今後の展望

- (1) 「あまちゃん」を活用した誘客事業：
コロナ禍により映像制作者等の商談会への参加ができず、新たなロケ誘致には繋げられなかった。既に撮影が行われていた映画のPR及び上映会等を実施することができた。
ロケ誘致を積極的に行うとともに、久慈市とゆかりのある著名人を起用したプロモーションや広告宣伝を行い、観光客誘客策に取り組みたい。
- (2) 体験型観光推進事業：
県独自の緊急事態宣言が発出されたことに伴い、8～9月の教育旅行受入意を中止した（仙台4、県内5の学校・団体をキャンセル）。
コロナの影響対策により、これまでの繁忙期（5～7月）の教育旅行受入のほか、9～12月にも受入があった。
令和4年度は、現段階で8校受入を実施・決定している。海の体験プログラムが少ないため、現在の受入地域である侍浜町に隣接した夏井町での民泊家庭・体験プログラムの充実を継続していく。

⑤重要業績評価指標

重要業績評価指標（KPI）	R1目標値 実績値	R2目標値 実績値	R3目標値 実績値
主要観光施設来客数（道の駅くじやませ土風館）【H30年度：60万人】	64万人 75万人	68万人 60万人	72万人 57万人
外国人観光客数（三陸鉄道久慈駅及び海女センターにおけるシール調査）【H30年度：700人】	725人 813人	750人 44人	775人 54人
自然体験等受入団体（教育旅行団体＋一般旅行団体）【H30年度：19団体】	53団体 61団体	58団体 44団体	63団体 57団体
ふるさと納税件数【H30年度：9,000件】	9,300件 29,980件	9,600件 18,700件	9,900件 16,180件

2 雇用と移住定住によるトータル人材獲得事業

令和3年度実績

①事業の背景目的

久慈市の社会減は、10代後半～20代前半の市外への就学や就職が大きな割合を占めている。大学生や高校生を対象とした県調査によれば、「岩手県に本社がある企業を知らない、または知っている企業が5社以下」の回答が約9割にのぼり、地元企業を知る機会がないことや就職したい職種がないことが課題となっている。

このことから、久慈市で暮らすことを選択肢の一つとして捉えてもらうため、地元の企業や暮らしについてイメージを持ち、同年代同士での交流を深めながら、地域で活躍する人材を確保・育成を目指す。また、企業からは人材獲得や職場体験受入等のノウハウ不足を感じる声が多くあることから、企業向けセミナー等で人材獲得支援の強化を図る。また、地元就職の離職率は約3割であり、雇用のマッチングミスが生じていることから、企業の採用力強化及び定着に向けたフォローを実施し、企業間同士で情報を共有しながら一体となってノウハウを蓄積する。

移住定住については、進学等により市外へ転出した場合も、地元へ戻るきっかけや受入環境を整備するため、転出者への効果的な情報伝達によりUターン者を増加させる。

②計画期間

令和元年度～令和3年度（3カ年）

③令和3年度事業実績

単位：円

事業内容	事業費(A)	交付対象額(A)×1/2
2 雇用と移住定住によるトータル人材獲得事業	6,447,134	3,223,567
(1) 新卒者定着支援フォローアップ事業		
①新卒者定着支援フォローアップ事業		
・Kターン希望者採用活動支援によるやりがいのある働く場確保業務（委託料） 就職後の離職防止やKターン就職者の雇用の受け皿の拡大、事業者の情報発信力の強化を図るため、次の事業を実施した。 ①個別フォローアップ事業 事業所に対し対面及びオンラインにより支援（8企業、合計47回） ②採用活動支援事業 情報共有会及び全体研修会（6回、16事業所）、大学との意見交換（7校）、大学等訪問ツアー（5事業所、6校訪問）、就職イベントへの参加（1回）	2,436,970	1,218,485
(2) 若者の雇用定着推進事業		
①若者の雇用定着推進事業		
・若者の雇用定着推進事業（委託料） 高卒新卒者の地元就職の推進を図るとともに、地元を離れて高等教育機関に進学する若者へも、地元就職する糸口となる意識付けを図り、地元の企業の魅力や地元での暮らし方のPRを進める事を目的に、中学校におけるキャリア教育の推進に資する事業を次のとおり実施した。 4月 キャリア教育ステッカー作成・配布 事業所向け出前事業・社会体験ハンドブックの作成・配布 7月5日 中学校キャリア教育研修会 10月4日～27日 キャリアオーケストラミニ（オンライン） 12月3日 キャリア教育推進連携シンポジウム ※社会体験Weekは、コロナ禍により中止したものの、中学校の希望により2校個別に対応	4,010,164	2,005,082

④事業の課題と今後の展望

本事業により人材定着に向けた研修、事業者向け研修等を実施し、離職防止、採用活動促進に取り組んできたところであるが、大学等への進学傾向が高まっていることから、大卒人材獲得に向けた採用活動を実現できるよう、研修内容を改良していく必要がある。

中学校段階からのキャリア教育について、事業者からの説明を聴講するキャリアオーケストラについては、コロナ禍により令和2年度、3年度においては、オンラインで実施したところである。令和元年度実施したキャリアオーケストラでは、学校側の意向を踏まえた形で多くの事業者の話聴講することができたことと比較して、令和2年度、3年度は聴講できる業種が制約されたところであり、オンラインでの開催後のアンケートでは、対面での実施を希望する声が続いているところである。令和4年度以降は、新型コロナ禍の状況を踏まえつつ、対面での実施を前提に事業を進めていき、将来の就職先として市内事業者が選択されるよう事業を継続する必要がある。

⑤重要業績評価指標

重要業績評価指標（KPI）	R1目標値 実績値	R2目標値 実績値	R3目標値 実績値
久慈管内新規高卒者の管内就職率 【H30年度：46%】	47.0%	48.0%	49.0%
行政関与移住者（移住相談会、空き家バンク、住宅補助制度等の制度活用による移住者）【H30年度：30人】	42.8%	38.1%	49.2%
行政関与移住者（移住相談会、空き家バンク、住宅補助制度等の制度活用による移住者）	25人	25人	25人
【H30年度：30人】	16人	16人	11人
高等教育インターンシップ受入企業数 【H30年度：9社】 ※累計	10社	11社	12社
	13社	15社	15社
北三陸久慈市ふるさと大使及び移住LINE@新規登録者 【H30年度：120人】	60人	60人	60人
	81人	18人	15人

3 まちなか賑わい再生事業

令和3年度実績と令和4年度事業計画

①事業の背景目的

平成19年5月から令和2年3月までの間、中心市街地の活性化を目的に、内閣府が認定する中心市街地活性化基本計画を2期実施し、「やませ土風館」及び「情報交流センター」の建設など各種事業を実施した。やませ土風館及び情報交流センターを中心市街地の集客拠点とし、市内外から人を集め、併せてその導線上にある地元商店街の魅力向上を図ることにより、中心市街地全体の回遊性を高めながら、滞在時間の延長と消費を促すことができる仕組みを構築することで、中心市街地の活性化の再生を目指す。

また、当市の観光資源は海女、琥珀、闘牛など多種あるが、これに加え、平成31年4月に白亜紀後期のティラノサウルス類の歯の化石が国内で初出土したことから、官民あげて新たな観光資源化を目指し取り組みを進め、観光色の弱かった地元商店街と有機的に結び付け、まちと観光の相乗効果を発揮させることで互いの持続的な発展を実現し、個性と多様性にあふれる魅力的なエリア形成を目指す。

②計画期間

令和2年度～令和4年度（3カ年）

③令和3年度事業実績

		単位：円	
事業内容		事業費(A)	交付対象額(A)×1/2
3 まちなか賑わい再生事業		9,536,555	4,768,277
(1) 商店街の基盤づくりに対する支援			
①魅力向上への支援			
・中心市街地エリア魅力向上モデル事業（補助金） 市街地エリアの活性化を図るため、商店街に設置しているベンチ用に絵本作家宮西達也先生に恐竜イラスト（10枚）の作画を依頼し、イラストをベンチに取り付けた。		1,000,000	500,000
(2) 市街地イベント支援			
①街なか回遊性向上事業			
・べっぴん夜市事業費補助金（補助金） 市街地に賑わいを創出し個店の認知度アップを図るため「べっぴん夜市」（5/28、6/25、7/23、10/22）及び「べっぴん昼市」（12/19）を開催した。		1,260,000	
②賑わいづくりチャレンジャー事業			
・賑わいづくりチャレンジャー事業補助金（補助金） 中心市街地エリアを主会場とし、団体またはグループが実施する新規イベントに支援を行なった。【実績：1団体】		100,000	
③街なか拠点施設魅力向上事業			
・観光交流センター魅力向上事業（委託料） 観光・特産品の情報発信、歴史・文化等の伝承活動、市内外の交流の実現のためのイベントを実施した。（カルチャー講座、山車展示、YOMUNOSUフェスタ等）		1,149,940	
・街なか拠点施設魅力発信事業（委託料） 施設の魅力を発信するため、YOMUNOSUともぐらんびあで連携し、企画コーナーの設置をした。		349,910	
・風の館山車展示経費（使用料） 観光交流センター「風の館」の誘客のため、メイン展示として秋まつりの山車を山車組から借り上げて展示した。		500,000	
④まつり・イベントによる賑わいづくり事業			
・久慈商店会連合会補助金（補助金） 魅力ある商店街づくりを推進するため、商店会が行うヤマセあきんど祭り事業に対して補助を行った。		1,021,000	3,648,925
・久慈春まつり補助金（補助金） 久慈商工会議所青年部が主催し、屋台の出展や、中高生の吹奏楽ステージ、任意団体のダンスなど久慈市の若い力を感じさせるイベントの開催。		765,000	
・久慈秋まつり実行委員会負担金（負担金） 600年余りの歴史を誇る岩手県北最大規模の祭り。8組の山車組による高さ10mを超える創作山車と、活気あふれる神輿が市内目抜き通りを通る豪華絢爛な祭りを予定したが、新型コロナウイルス感染症の情勢により中止。 代替として、道の駅の山車展示スペースにおいて、5月～8月に観光客向けお囃子実演を実施した。		300,000	
・久慈納涼花火大会実行委員会負担金（負担金） 久慈市の夏の風物詩として親しまれる花火大会の開催。		902,000	
⑤街なか連携観光誘客事業			
・久慈市街なか連携観光誘客推進協議会負担金（負担金） 市内観光施設の二次交通対策事業として、タクシーの割引補助を行うプランを実施した。		950,000	
(3) 空き店舗出店費補助			
①空き店舗出店費補助			
・空き店舗出店費補助金（補助金） 中心市街地の賑わい創出のため、中心市街地にある空き店舗を改装して出店する者に改装工事費の2分の1（上限50万円、新規出店の場合は25万円）を補助。 【実績：3店舗】		1,238,705	619,352

④事業の課題

新型コロナウイルス感染症の影響がある中、規模等を縮小し実施できた事業もあったが、実施できなかった事業もあった。感染対策の実施方法や中止の可否判断など今後も検討が必要である。

⑤重要業績評価指標

重要業績評価指標 (KPI)	R2目標値 実績値	R3目標値 実績値	R4目標値 実績値
拠点施設来客数 (道の駅くじやませ土風館及び情報交流センター)	857,557人 725,237人	892,557人 725,149人	892,557人
歩行者・自動車通行量 (久慈商工会議所調査)	4,319人 3,187人	4,919人 2,666人	5,519人
中心市街地における年間新規出店件数	5件 3件	5件 5件	5件
ふるさと納税件数	26,500件 18,700件	27,000件 16,180件	27,500件

⑥令和4年度事業計画

単位：円

事業内容	計画額(A)	交付対象額 (A) × 1/2
3 まちなか賑わい再生事業	11,460,000	5,730,000
(1) 市街地イベント支援		
①街なか回遊性向上事業		
・べっぴん夜市事業費補助金 (補助金) 中心市街地への屋台出店をメインとしたイベント「べっぴん夜市」を開催し、中心市街地の賑わい創出を図る。	1,260,000	
②賑わいづくりチャレンジャー事業		
・賑わいづくりチャレンジャー事業補助金 (補助金) 中心市街地エリアを主会場とし、団体・グループが実施する新規イベントを支援する。	500,000	
③街なか拠点施設魅力向上事業		
・観光交流センター魅力向上事業 (委託料) 観光・特産品の情報発信、歴史・文化等の伝承活動、市内外の交流の実現のためのイベントを実施する。	1,150,000	
・街なか拠点施設魅力発信事業 (委託料) 街なかの集客施設であるYOMUNOSU、やませ土風館の魅力を発信し、中心市街地の交流人口増に資する事業を、久慈市観光物産協会に委託し実施する。	350,000	
・風の館山車展示経費 (使用料) 観光交流センター「風の館」の誘客のため、メイン展示として秋まつりの山車を山車組から借り上げて展示する。	500,000	
④まつり・イベントによる賑わいづくり事業		
・久慈商店会連合会補助金 (補助金) 魅力ある商店街づくりを推進するため、商店会が行うヤマセあきんど祭り事業に対して補助を行う。	1,743,000	10,210,000
・久慈春まつり補助金 (補助金) 久慈商工会議所青年部が主催し、屋台の出展や、中高生の吹奏楽ステージ、任意団体のダンスなど久慈市の若い力を感じさせるイベントを開催する。	765,000	
・久慈秋まつり実行委員会負担金 (負担金) 例年600年余りの歴史を誇る岩手県北最大規模の祭り。8組の山車組による高さ10mを超える創作山車と、活気あふれる神輿が市内目抜き通りを通る豪華絢爛な祭りを実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、開催方法を変更。中心市街地の複数箇所に山車を展示し、定時で音頭上げ、お囃子を実施予定。	2,090,000	
・久慈納涼花火大会実行委員会負担金 (負担金) 久慈市の夏の風物詩として親しまれる花火大会を開催する。	902,000	
⑤街なか連携観光誘客事業		
・久慈市街なか連携観光誘客推進協議会負担金 (負担金) 市内観光施設の二次交通対策事業として、タクシーの割引補助を行うプランを実施する。 イベント時に久慈駅等市内中心部からシャトルバスを運行し、イベント誘客と二次交通の充実を図る。	950,000	
(2) 空き店舗出店費補助		
①空き店舗出店費補助		
・空き店舗出店費補助金 (補助金) 事業者が空き店舗に新規出店する際に要する改装費への支援を行う。	1,250,000	1,250,000
		625,000

⑦課題への対応策

イベントについて規模、方式により実施できるものがあることから実施団体と協議し、可否について検討する。コロナ禍においてもイベントが実施できるよう出入口制限、検温、消毒など対策を検討する。

4 被災3県ドラマ舞台地の連携による観光周遊促進と新たな産業創出に向けた関係人口拡大おかえりプロジェクト

令和3年度実績と令和4年度事業計画

①事業の背景目的

東日本大震災以降に朝ドラの舞台地となった福島市・気仙沼市・久慈市の3市が連携し、朝ドラファンや被災自治体に関心を持つ層に対し共同してPRを行うことで、これまで単独自治体では接触できていなかった潜在的な被災地域関心層への訴求拡大や観光誘客の推進を図る。また、地域の魅力ある商品の開発や受入体制の充実により「地域のブランド力・包容力」の向上を進め、観光誘客を一時的な訪問や単発の消費に終わらせず、再訪を促し、継続的に関係人口として交流を進めていくことで、朝ドラのチャンスを復興後の地方創生に向けた強力な原動力として活用（「朝ドラ復興ツーリズム」）し、全国から「選ばれるまち」（「朝ドラ復興ツーリズム」から、交流人口や長期滞在者を増やし、関係人口増大・移住定住につながるまち）を目指していく。

②計画期間

令和3年度～令和5年度（3カ年）

③令和3年度事業実績

単位：円

事業内容	計画額(A)	交付対象額(A)×1/2
4 被災3県ドラマ舞台地の連携による観光周遊促進と新たな産業創出に向けた関係人口拡大おかえりプロジェクト	13,611,632	6,805,815
(1) 観光・物産・移住定住情報発信センター運営費		
<ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼・久慈・福島3市連携実行委員会負担金（負担金） <p>センターを拠点として、首都圏在住者をターゲットに朝ドラ舞台地となった地域の観光PR、特産品・工芸品販売、イベントブース出展、移住定住相談会を実施し地域と首都圏間の関係人口の拡大を図った。（運営者：(株)日比谷花壇） 開館 令和3年7月10日 ①交通会館マルシェ 9月25日（土）、10月16日（土）、10月30日（土）、11月20日（土）、12月11日（土） ②ふるさと回帰フェア出展 10月17日 ③オンライン移住相談会 12月4日（土）</p>	7,391,575	3,695,787
(2) 宣伝広告費負担金		
<ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼・久慈・福島3市連携実行委員会負担金（負担金） <p>朝ドラ舞台地周遊や特産品・工芸品販売を促進するための広告・宣伝、観光客の再訪や中長期的な交流を進め、関係人口化していくための情報発信を行う。 ・NHKウィークリーステラ 7月9日号、10月22日号 ・久慈地方物産展&地産地消フェア 10月9日～10日 ・福島市軽トラ市 10月31日 ・気仙沼ポップアップイベント 12月18日～1月10日 於：久慈地下水族科学館もぐらんぴあ</p>	972,743	486,371
(3) 観光物産PR・移住促進合同おかえり事業		
<ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼・久慈・福島3市連携実行委員会負担金（負担金） <p>本事業のプロモーション効果を高めるために、被災地支援を積極的に行っているお笑い芸人「サンドウィッチマン」さんを起用し、プロジェクトを広く周知するためのポスター、チラシを制作した。</p>	2,310,534	1,155,267
(4) 商品開発費		
<ul style="list-style-type: none"> ・気仙沼・久慈・福島情報ステーションオープンに伴うPR業務(委託料) <p>マスコミ等も集まるセンターのオープンに合わせて当市の観光及び物産PRを行うため、北三陸観光大使の藤織ジュンさんを派遣し、PRを行った。（委託先：合同会社プロダクション未知カンパニー）7月11日～18日のうち6日間</p>	183,700	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光プロモーション(東北・朝ドラ舞台地グルメフェア)開催業務(委託料) <p>東北の玄関口である仙台空港にあるレストランにおいて、特産品を活用したメニューを開発し提供した。（委託先：Tregion(株)） ・日時：8月2日～31日、・場所：Tohoku Trattoria Tragion Galley ・提供メニュー「いわてくじ山形村短角牛ステーキ」「とろける究極コラボ！北三陸の「うにく」「夏の名物！北三陸うに」「ギャレーセット（わかめのゼッポリーニ）」日本酒「久慈川」 ・提供数 169食</p>	110,000	
<ul style="list-style-type: none"> ・体験・見学コンテンツ等調査・開発事業(委託料) <p>市内の体験・施設見学等のコンテンツの現状を把握し、新たな体験・見学コンテンツを開発することを目的に実態調査と関係者による実証ツアーを行った。（委託先：久慈広域観光協議会） ・実証ツアーの内容 ①「リアル・久慈の地層と久慈の琥珀採掘体験見学」8名参加 ②「もぐらんぴあ・ナイトツアー体験・見学」9名参加 ③「久慈琥珀博物館/新設・手作り体験工房/新ワークスタジオ見学・体験」7名参加 ④久慈明まつり・まつり山車見学・説明と祭り音頭上げ披露」5名参加</p>	481,580	
<ul style="list-style-type: none"> ・特産品を活用した観光PRイベント(山ぶどうフェア)開催業務 <p>久慈市の特産品や産業を首都圏で紹介する機会を設け、コロナ後の観光客誘客に繋げることを目的にキャンペーンを開催した。（委託先 ㈱八芳園） ・日時 令和4年11月10日～15日（6日間）・場所 東京都港区白金台「MuSuBu」 ・内容 ①「山ぶどう」を使ったオリジナルメニュー提供（5種類、456食）、②特産品販売（売上額1,360千円）、③PR映像の制作・上映、④ワークショップ「こはく缶を使った琥珀の採掘体験」（43組）、⑤オンライン配信、⑥掲示物等制作・広告宣伝</p>	550,000	1,468,390
<ul style="list-style-type: none"> ・観光素材動画ドローン等撮影業務(委託料) <p>観光DX時代を迎えるアフターコロナに観光資源の魅力伝えるため、PRに使用する動画や写真を撮影を行った。（委託先：(有)九戸印刷）・市内20か所をドローンを使って撮影</p>	297,000	
<ul style="list-style-type: none"> ・おかえり館オンラインイベントPR業務(委託料) <p>センターで実施するオンラインイベントにおいて、当市の観光・物産のPRを行った。（委託先：合同会社プロダクション未知カンパニー）・日時 令和4年3月14日</p>	16,500	

<p>・特産品を活用したレシピ開発業務(委託料)</p> <p>久慈市及び県の特産品をふんだんに用いて誘客の目玉となるオリジナルメニュー3品の開発、調理講習を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菜彩鶏と山白玉大豆のタコス、琥珀サーモンのフライドドッグ、寒締ほうれんそうといちごのスムージ ・調理講習会の実施(令和4年3月25日) 久慈市交流促進センター(新山根温泉べっぴんの湯)調理員にオンライン講習を実施 ・動画作成 	1,298,000		
--	-----------	--	--

④事業の課題

コロナ禍であり観光客誘客のための事業(周遊ツアー・誘客キャンペーン等)の実施ができなかった一方、アフターコロナに向けたコンテンツ作成や受入体制の整備等を実施したことから、次年度以降の誘客強化に繋げたい。3市連携事業においては、3市のオンライン会議を積極的に行い、事業の進捗等を共有するなどし連携の強化を図った。

⑤重要業績評価指標

重要業績評価指標 (KPI)	R3目標値 実績値	R4目標値 実績値	R5目標値 実績値
首都圏アンテナショップ(情報発信・交流センター) 産品年間売上額	75,000千円 12,525千円	100,000千円	120,000千円
首都圏アンテナショップ(情報発信・交流センター) 年間来訪者数	150,000人 25,020人	200,000人	250,000人
福島市・気仙沼市・久慈市の観光客入込数の和(速報値)	9,247,137人 5,574,000人	9,367,137人	9,517,137人

⑥令和4年度事業実績

事業内容	計画額(A)	交付対象額 (A)×1/2
4 被災3県ドラマ舞台地の連携による観光周遊促進と新たな産業創出に向けた関係人口拡大おかえりプロジェクト	17,920,000	8,960,000
(1) 観光・物産・移住定住情報発信センター運営費		
・気仙沼・久慈・福島3市連携実行委員会負担金(負担金) センターを拠点として、首都圏在住者をターゲットに、朝ドラのロケ地や地域の観光PR、開発商品を含む特産品や観光プログラムの販売を促進し、地域と首都圏間の関係人口の拡大を図る。	7,870,000	3,935,000
(2) 宣伝広告費		
・気仙沼・久慈・福島3市連携実行委員会負担金(負担金) 朝ドラ舞台周遊(朝ドラ復興ツーリズム)や開発産品販売を促進するための広告・宣伝、観光客の再訪や中長期的な交流を進め、関係人口の拡大を推進していくための情報発信を行う。	1,000,000	500,000
(3) 観光物産PR・移住促進合同おかえり事業		
・気仙沼・久慈・福島3市連携実行委員会負担金(負担金) 3市の連携によりアフターコロナの観光客誘客促進や都市間周遊の取り組みを強化するための取り組みを行う。	1,000,000	500,000
(4) ロケツーリズム推進事業		
・北三陸あまちゃん観光推進協議会負担金(負担金) 「あまちゃん」に登場した地域資源やイベント、文化など、ロケ地を最大限活用した誘客を推進するための取り組みを行う。また全国的に地域の魅力をPRするために、様々な媒体を活用した宣伝広告を行い、観光客の誘客を促進する。	3,000,000	2,525,000
・ロケ誘致・支援事業、ロケ地・出演者を活用したPR(委託費) ロケツーリズムを推進するために、映像制作者との商談会への参加や撮影支援、プロモーション活動を行い事業推進を図る。	2,050,000	
(5) 商品開発費		
・個人・団体向け旅行商品の造成、特産品を活用した地域ブランディング・商品開発、イベント開催 観光資源や特産品のブランディングを行うとともに、観光キャンペーンやイベントを開催し、観光客の誘客に繋げる。久慈市とゆかりのある著名人を起用したプロモーション等により地域の注目度や価値を高める取り組みを実施する。	3,000,000	1,500,000

⑦課題への対応策

おかえりプロジェクト事業については、3市担当者間の連携が図られてきており、拠点施設の運営強化や、プロモーション強化により、広く3市をPRする取り組みを進めていきたい。ロケツーリズム推進事業については、商談会の成果により当市での撮影を検討する制作者が出てきており、継続による効果を実感している。

商品開発費については、アフターコロナの状況を見極め、適切な時期に効果的な観光プロモーションを行い、誘客に向けての取り組みを強化したい。

5 地元学推進事業

令和4年度事業計画

①事業の背景目的

当市の目指す将来像として、最大の目標は人口減少・少子高齢化に歯止めをかけることである。人口減少の大きな要因は、卒業を機に市外への就学や就職によるものであり、若年層（10代～20代）の減少に伴い、出生数も減少し、地域の少子高齢化が進んでいる。このことから、若者へ久慈市で暮らすことを選択肢の一つとして捉えてもらうため、地域の様々な魅力を知り地元愛を醸成し、地元の企業や暮らしについてイメージを持ち、同年代同士で交流を深めながら、地域で活躍する人材を確保・育成したい。また、進学等により市外へ転出した場合も、地元へ戻るきっかけや環境を整備し、転出者への効果的な情報伝達によりUターン者を増加させたい。

②計画期間

令和4年度～令和6年度（3カ年）

③令和4年度事業計画

		単位：円	
事業内容		計画額(A)	交付対象額 (A)×1/2
5 地元学推進事業		27,819,000	13,909,000
(1) キャリア教育・事業者育成事業			
①キャリア教育推進			
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育推進事業費（委託費） 将来のありたい姿を考え始める中学2年生（市内全校）を対象に、市内にある多様な職業の認知、職業観・勤労観の醸成、将来の自己実現の場として久慈市を候補の一つとして考えてもらうことを目的に、①～③の事業を実施する。 ①合同職業講演会事業 市内全中学校を対象に社会体験の事前学習として、地域企業を講師とした講演会を行う。 ②職場体験事業 市内全中学校を対象に、合同の社会体験を市内事業所で行う。 ③スキルアップセミナー 事業者、教員等を対象に事業への深化、効果向上のため、専門家によるセミナーを行う。 		5,902,000	
		7,982,000	3,991,000
②事業者育成促進事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・事業者育成促進事業費（委託費） 市内に所在する事業者が抱える課題、強みを明らかにすることにより、事業者の魅力向上及び従業員の定着を図り、地元定着の促進、事業者の就労増を目的に、①～②の事業を実施する。 ①個別フォローアップ・全体研修事業 従業員の定着や就労増につなげるため、事業者に対し、課題・魅力の洗い出し、情報発信力の強化方策の全体研修・個別フォローアップを行う。 ②Kターン促進事業 Kターン就職希望者の掘り起こしを図るため、大学が立地する地区において、市内企業の就職ガイダンスの開催、大学訪問を行う。 		2,080,000	

(2) 体験型教育推進事業			
① 体験型教育推進事業			
<p>市内小中学校を対象に、今まで気付かなかった地元の魅力を発見させることを目的として、海・山・里の自然体験や伝統文化を生かした体験型教育を実施する。参加校・団体や民泊先、体験インストラクターとの調整を行い、受入体制の核となる久慈市ふるさと体験学習協会が中心となり、受入体制を構築する他、体験コースの環境整備、ジオパークを活用した授業を行う。</p> <p>また、体験型教育を通じた移住者の確保を目的に、県内外への体験学習のPRや新規体験メニューの造成も並行して実施する。</p>			
・体験型教育インストラクター（職員報酬・手当）	203,000	14,683,000	7,341,000
・体験型教育事務経費（需用費）	295,000		
・体験型教育受入体制構築（補助金）	9,500,000		
・体験型教育旅行PR（役務費）	465,000		
・体験型教育受入地区開発経費（委託費）	565,000		
・Eバイク活用体験メニュー開発経費（委託費）	330,000		
・体験コース、みちのく潮風トレイル環境整備（委託費）	725,000		
・ジオパーク活用事業（負担金）	500,000		
② 民泊整備推進事業			
<p>・民泊整備推進事業費補助金（補助金）</p> <p>体験型教育推進事業に関連し、民泊受入れを推進するため、民泊施設の機能強化を目的に、民泊受入経営体の家屋において、トイレ及び内装を改装する費用に対して補助金を交付する。</p>	1,000,000		
③ フォレストボード整備事業			
<p>・フォレストボード整備委託事業（委託費）</p> <p>体験型教育推進事業に関連し、体験メニューの一環として参加者が制作する、平庭の森林ウォーキングの足場となるフォレストボードの土台を整備する。</p>	1,100,000		
(3) 地産地消推進事業			
① 地産地消ふれあい給食事業			
<p>地元で採れる食材（ホウレンソウ・短角牛・シイタケ・サケ）について、生産方法や流通先、調理方法などを学ぶことで、地元の魅力を再確認させること目的に、地元食材を使った給食の提供、生産者を講師とした授業の開催、地産地消イベントを実施する。</p>		3,100,000	1,550,000
・講師（生産者）謝礼金（報償費）	34,000		
・給食賄材料費（需用費）	3,066,000		
(4) 歴史文化・産業等情報発信事業			
① 歴史・文化産業等情報発信事業			
<p>地域の誇る文化である津軽藩始祖大浦光信公に縁のある青森県鯉ヶ沢町等と連携したイベントを行う。</p>		2,054,000	1,027,000
・講演会講師謝礼（報償費）	540,000		
・連携イベントPR経費（需用費・役務費）	314,000		
・連携イベント開催経費（委託費）	500,000		
② 恐竜化石を活用したPR事業			
<p>市の魅力向上を目的に、近年、発掘が続いている恐竜化石を活用した、講演会やワークショップを行う。</p>			
・ワークショップ、講演会講師謝礼・旅費（報償費・旅費）	517,000		
・ワークショップ、講演会会場借り上げ料（使用料）	183,000		

④ 重要業績評価指標

重要業績評価指標 (KPI)	R4目標値	R5目標値	R6目標値
	実績値	実績値	実績値
久慈管内新規高卒者の管内就職率	39.1%	40.2%	41.2%
Uターン者数（転入者によるアンケートで出身地久慈と回答）	201人	211人	221人
市内自然体験受入校数	5件	6件	7件
地元愛に関する市民満足度	2.86%	2.90%	2.94%

6 北三陸の海・山・里・ひとつをつなぐ交流拠点施設整備事業

令和3年度実績と令和4年度事業計画

①事業の背景目的

令和3年の三陸沿岸道路全線開通により、沿岸部への交通のシフトが見込まれ、観光や地場産品に対する需要増加とそれに伴う雇用・販路の拡大が予想されるが、道路沿いにはそれらのサービスを提供する場がない。当地域は八戸市や宮古市といった大きな都市の間に位置することから、三陸沿岸道路の開通に伴うストロー効果により、観光目的などの道路利用者が通過する恐れがある。このことから三陸沿岸道路の整備・開通に伴う経済・ストック効果による地域活性化への波及効果を十分に享受するための拠点・核となる久慈広域のゲートウェイ機能を持った久慈広域道の駅を令和4年度を目標に整備することとした。

当該施設を活用した農林水産物の生産・消費拡大や三陸ジオパークをはじめとする観光資源や農漁村での民泊の受け入れ等を通じた都市部との交流人口の拡大、施設を核とした広域管内での世代間交流、久慈広域圏への観光客等の誘導による経済活動の活性化の効果を久慈市のみならず久慈広域で最大限享受することで、第1次産業の振興や交流人口の拡大による既存施設の活性化などの地域課題の解決を目指し、高い経済波及効果と施設を拠点としたまち・ひと・しごと創生と好循環を生み出そうとするものである。

②計画期間

令和2年度～令和4年度（3カ年）

③令和3年度事業実績

単位：円

事業内容	事業費(A)	交付対象額(A)×1/2
1 北三陸の海・山・里・ひとつをつなぐ交流拠点施設整備事業	165,391,000	82,695,000
(1) 情報発信施設の建築に係る設計		
①設計業務		
・建設実施設計		
「購買」「休憩」といった従来の道の駅機能はもとより、地域住民や子育て世代の利用頻度を高める道の駅として、「北三陸の魅力発信基地～子供が楽しく遊べる「秘密基地」」をテーマに、キッズスペースを含めた物販・加工・飲食施設等を備えた地域振興施設、久慈広域4市町村の地元・特産物・観光イベントなどの地域情報を広く発信する情報発信施設の建築に係る実施設計を行った。	7,020,000	3,510,000
(2) 情報発信施設の建築に係る工事		
①建築工事		
・建築主体工事		
当該施設の建築工事を行った。	110,871,000	66,435,000
・建築設備工事		
当該施設の建築設備工事を行った。	22,000,000	
(3) 効果促進事業（ハード事業）		
①設計業務		
・基盤整備実施設計		
当該施設の外構等整備事業に係る実施設計を行った。	2,970,000	
②工事監理		
・基盤整備工事監理		
当該施設の基盤整備工事の工事監理を行った。	440,000	12,750,000
③基盤整備工事		
・基盤整備工事（整地）		
当該施設の利用者のための駐車エリアと、一年を通じてイベント開催や子育て世代の自由空間として活用するイベント広場等を整備するための整地等を行った。	22,090,000	

④重要業績評価指標

重要業績評価指標 (KPI)	R2～R4目標値	R5目標値	R6目標値
	実績値	実績値	実績値
本施設の年間売上	0千円 0千円	263,948千円	263,948千円
本施設の利用者数	0千人 0千人	293千人	293千人
久慈広域における既存道の駅のレジカウント通過客数	0千人 0千人	31千人	21千人
本施設の物販施設において、農林水産品等の卸を新規に行う地域内の事業者及び個人事業者数	0者 0者	8者	5者

⑤令和4年度事業計画

単位：円

事業内容		計画額(A)	交付対象額 (A)×1/2
1 北三陸の海・山・里・ひとつを繋ぐ交流拠点施設整備事業		814,302,000	407,151,000
(1) 情報発信施設の建築に係る工事			
① 建築工事			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築主体工事 「購買」「休憩」といった従来の道の駅機能はもとより、地域住民や子育て世代の利用頻度を高める道の駅として、「北三陸の魅力発信基地～子供が楽しく遊べる「秘密基地」」をテーマに、キッズスペースを含めた物販・加工・飲食施設等を備えた地域振興施設、久慈広域4市町村の特産物・観光イベントなどの地域情報を広く発信する情報発信施設の建築工事を行う。 	431,690,000	734,628,000	367,314,000
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築設備工事 当該施設の建築設備工事を行う。 	295,975,000		
(2) 情報発信施設の建築に係る工事監理			
② 工事監理			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工事監理 当該施設の建築工事及び建築設備工事の工事監理を行う。 	6,963,000		
(3) 効果促進事業（ハード事業）			
① 基盤整備工事			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基盤整備工事（植栽、管理施設、案内サイン等） 当該施設敷地内の植栽やフェンスや駐車場周辺の車止め、排水施設、場内の案内サイン等を整備する。 	76,574,000	77,674,000	38,837,000
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基盤整備工事監理 当該施設の基盤整備工事の工事監理を行う。 	1,100,000		
(4) 効果促進事業（ソフト事業）			
① 広域道の駅効果促進事業			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報発信構築 施設の竣工、開業を見据え、PRポスターやパンフレット等を制作し、施設及び広域の情報発信を行う。 	1,000,000	2,000,000	1,000,000
<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品開発セミナー 生産者向けのセミナーを通じて、農産物やその加工品の効果的な売り方など、生産者が魅力ある商品を出荷、販売するための取組みを後押しする。 	1,000,000		